京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年 紀元二千五百七十年
本紙定價（前金）▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵税一ヶ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一回金十五錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久神一郎
京城西署西小門通（電話八六三）
發行所 京城新報社

雜報

國士金玉均氏（六）

國王に上りし書（續き）

臣又別に聊か私情を陳述して殿下の明斷に訴へんと欲する者あり抑も殿下の臣を以て逆賊とせらるゝは臣に何等の罪あるに由りて然るか惟ふに是れ全く殿下の聖意に出るに非らず必ずや奸臣輩の自己の嫌疑を恐にして殘酷無狀の行ひを逞うするに因るなり然りと雖も殿下は聰明の君主なり假ひ奸類の讒謗を構造する如きことあるも固より其の聖明を壅蔽せらるゝことなかるべければ臣又敢て多言するを要せず但一昨年の事は世間或は其急激に近きを譏するものあるべしと雖とも殿下試みに少しく省察する處あれ抑も我邦の閔族に於けるや閔を以て姓とする者は其の人の賢不肖を問はず頼りに之を信重し股肱と爲し腹心となす已に二十年の久しきに至る然り而して閔族にして能く殿下の聖意に奉答し生民に潤澤を及ぼす可きの政を施し國家を富強に致す可きの謀を建てし者知らず果して幾人かある多くは是れ國を賣るの罪人にして或は清國官吏の力を籍りて以て我國權を蔑如せんとする者あり（略）奸臣の坤殿の寵を恃み敢て聖明を壅蔽して國事を破らんとするに至りしもの少なからず殿下平生深く之れを憂ひ窃かに臣に諭すに之れを除くの計を以てす臣亦流涕して奏上する所あり臣窃かに以爲らく今に於て斷然斯る奸類を芟除せざる時は千載の下殿下をして亡國の君主たるを免かれしむること能はざるべし即ち國家の爲めに身命を擲つて事を擧げたり然るに今に至り臣に負はしむるに逆賊の名を以てすとは何ぞや臣其必ず殿下の聖意に非らざるべきを知るなり（略）

伏して願はくは殿下今より無用の疑心を除き奸臣黨の讒言に迷ふ事無く深く國家の大計を愼みて禍机を未然に防ぎ祖宗五百年の基業をして其緒を墮さざらしめんことを今や天下の形勢日に變じ月に移り瞬時も安心すべきに非らず全羅道三島即ち巨文島は已に英國の奪ふ所となる前車の覆轍已に茲に在り殿下以て如何となす在朝の諸臣は果して何等の計かある臣未だ之れを知る能はずと雖ども今日の朝鮮國に於て英國の名を知る者は果して幾人ありや設令在朝の諸臣と雖ども英國の何の邊に在るやを問はゞ茫として答ふる能はざる者往々皆然り之を譬へば物ありて來つて我肢體を咬むも更に其痛みを感ぜざるのみならず何物の來りて我れを咬むやをも知らざるが如し（未完）

韓國温泉所在地（上）

鐵道管理局調査

韓國各道中温泉の湧出せざるは京畿全羅の二道のみ就中豐富なるは黄海道にして十個所次は平安道の八個所なりとす今其所在地を擧ぐれば左の如し

忠清道
延豐郡 温井 郡邑の北約三里安富驛の西方に在り
公州郡 同 儒城驛の南、太田驛の西方約二里半の地に在り微温
温陽郡 温泉 郡邑の西三十丁許、太祖世宗の巡幸せし所なりと

慶尚道
東萊郡 温井 郡邑の北方十七八丁許
梁山郡 温井 郡邑の東一里半强（今廢す）

黄海道
平山郡 温泉 郡邑の南方五里半許、石砌浴室を設く
安岳郡 潤陰温泉 郡邑の北二里二十餘丁
信川郡 温泉 郡邑の東六合許
文化郡 弓村温泉 郡邑の南一里半、清澄
海州郡 馬山温泉 郡邑を西に距る六里近傍地氣皆温
白川郡 温井 郡邑の南方二里半にして一個所半里の地に一箇所在り
松禾郡 温泉 郡邑の南一里半板橋里に在り
殷栗郡 鹹泉 郡邑の北方一里三合

地方通信

平壌通信

▲汲水夫問題交渉 紛擾中の平壌の汲水夫問題に關し之が解決方に就ては其後水道當局者に於て内部へ伺ひ中にて未だ何等回答に接せざる事なるが右に就き聞く所に依れば去る四十一年京城に於て始めて水道を敷設せられたる際にも殆んど平壌に於けると等しき有樣にて京城汲水夫等の間に苦情起り各汲水夫等は當時京城の水道を敷設したる會社との間に多少の紛擾を惹起したる趣きなるが其後同會社にては之等汲水夫を同じく會社の經營に屬する共用栓の汲水販賣人夫に使用する事とし其他に涙金として僅少の手當を與へて無事解決したる趣きなり最も右は會社の經營に屬するものなれば當地の如き官廳の直營に係るものとは之れが解決を爲すに於て決して同日の事に至らざるべきも大体に於て右の狀況に徴する時は當地の紛擾問題の如きも今後水道當局者に於て一般汲水夫等に對する相當の就職の途を與ふるに於ては著しき面倒を見ずして解決するに至るべくさして棄々しく云ふ程の重大問題にあらずと云ふ尚右に就ては之が解決方に就き内部の意を体し同衛生局事務官佐治氏來壌したれば何れ汲水夫を招集し交渉する所あるべく多分近日の内何とか解決するに至るべしと云ふ

▲墓地設備と火葬場 平壌兵營の背後に當る内川面の元兵同墓地は今回平壌民團に於て其大部分を讓り受け之に設備を加へて居留民の墓地として比較的完備したるものを設立する筈なるが之が設備に就ては附近の周圍に果樹の栽培を爲し彼日本内地の墓地にして其有數なるものに於けるが如く綠滴る樹木紅燃ゆる花卉を以て包擁せられたる中に壘々たる墓石を見る森嚴崇高なる光景の人をして一種の感を起さしむる底のものを作り以て一般居留民をして韓地の土と化するとも母國に於ける其ものゝ如き感を以て安じて地下に眠らしむるべく計畫の由なるが右にして愈々着手せらるゝ曉には同時に附近に之亦比較的完全なる火葬場をも設立せん筈にて何れも目下考案中なりと云ふ因に前記墓地に果樹を栽培せん事に就ては然るべく之が栽培人を選定し之をして同墓地の看守及花樹の栽培に從事せしめ而して之が給料等は爾後果樹に依りて生ずる收入を以て充當し得る樣の計畫を爲す筈なりと云ふ（三十日）



講談

大岡政談 越後傳吉

第三十七回 旭堂南陵講

疑ひの微塵もない傳吉は云はれるまゝに佛壇の抽斗へ右の百兩の金子と櫛證文を鬮め、そのまゝ氏神へ參詣に出掛ける、引違へに這入つて來たのが庄藏庄「オッ、お梅や梅「オゝ庄藏さん、好い處へ來てお呉れだつたね、モゥ少し早やかつたら眞實に都合の惡い處だつたよ庄「爾うかい梅「マア兎も角も上つてお呉れ、飛でもない事が出來たよ庄「エッ梅「野郎が歸つて來たんだ早「オゝ庄藏さん芋ッ掘りが戻つて來たよ庄「ア、爾うかねぢやア何うも仕方がねえや、戻つて見りやアこの宅の御亭主だ、亭主が歸つて來たんだから和女サゾ嬉しいだらう梅「アラッ那んな事を云ふわ阿母……早「和女何も爾んなに案じるものぢやアない、また庄藏さんも餘計なことをいはないで此方へお上り、それに就て一寸相談があるんだからよ、マア庄藏さん、芋ッ掘りは豪い奴だわ眞實に、江戸の吉原で奉公をして喰ふ物も喰はないで三百兩といふ大金を儲けて戻つたよ庄「エッ、恐ろしい奴だナ早「それがね、話しを聽いて見るとこれ〳〵で庄「フム早「妾の今の考へでは彼奴を此の儘にして置いたら乾度三百兩の金子で田地田畑を買戻し、昔の立派な百姓に成りやアお前さんとお梅と思ふやうに逢ふ事も出來ない、またお妾もお父さんと首尾すると云ふ譯にも行かなくなるから、邪魔になるのは彼の傳吉……マア妾の考へでは斯うしちやア何うだらう、那の金子を今晩の裡に盗ませてしまうんだ庄「誰にッ……早「誰にだッてお前さんが盗むんだ庄「ウム、何うして盗む早「佛壇の抽斗へチヤン〳〵と藏つてあるから、斯ういふ工合にしたら何うだね」惡婆お早の口から出ました一ッの計略、ニッコリ笑つた姦夫の庄藏が庄「ナール程、此奴ア巧い考へだ、ナーニ對手は薄呆やりの芋ッ掘りだ、ところで乃公が目明かしと來て居るから大丈夫だ、ぢやア阿母爾ういふことにしやう、それを仕遂げるには乃公が居ちやア惡いから直ぐと歸つて萬事は夜半だ早「おやア庄左衛門さんにもこの話をして置いてお呉れ庄「ヨシ心得た、乃父に話をしたつて何んの異存があるものか、金子を三百兩卷上げて野郎を江戸へ追ッ拂ふだけの事、ヨシ心得たッ」庄藏そのまゝ戸外へ飛出した、後はお早がお梅にも申しまして御飯の準備、彼是して居る處へ何にも知らない傳吉が、氏神の參詣も終つて歸つて來る、イヤもう今度は打て變つて母娘がチヤホヤ、さぞ傳吉さんお疲れだらうとか、お江戸でも散々苦勞したゞらう、イヤ能く辛抱をして來てお呉れたとか出任せの追從口、根が正直な傳吉はそれを眞に受けて非常に悦ぶ

マア疲れて居るから酒を一杯お飲みといはれては、母親の侑め辭退するでもなからうと飲めない酒を二三杯……夜に入りましては我家なり、ホロリと醉の廻つた傳吉は心の緩みでガッカリした傳「阿母さま、私い何だか今晩は肩の重荷を卸した如でございます早「アヽ爾うだらうとも、ぢやア悠然と手足を伸して早く寢なさい、今晩はお梅だつて久振り、種々話もあるだらう、サア〳〵寢床といふことにしませう爾うして百兩の金子と大切な證文に櫛を納つてあるお佛壇、これが何よりだよ、またソレ途中で出合した旅偸盗が出てはならぬから、幸ひ妾が佛壇の前へ抽斗の方に枕を向けて寢て居りやア、老人は夜寂いものだから大丈夫、妾がこの金子の番をして居るからお前方は安心をして今晩は緩りと骨休みをしてお呉れ……お梅や、傳吉さんの機嫌を取るのだよ梅「サア傳吉さん寢みませう」傳吉は今夜といふ今夜こそ何年振かの樂みだ、お梅に手を把られまして這入る納戸の内、お早婆さんは佛壇の前の處へ床を展べて這入るとそのまゝグゥ〳〵グッといふ空鼾、たゞさへ繁華な土地を逃つて草深い田舎の事、這般まで夜が世界の吉原で暮した傳吉、今宵は田舎の森閑とした世界だから、何となく心も落付き、久振りに夫婦仲睦じくグッスリ寢込んでしまつた折柄裏の切戸がゴトゝゝといふ物音、密と寢床から逼ひ出たお早が拔足差足、内から切戸をぱギイー開けた、外部には庄藏が頰冠り身輕の扮裝庄「阿母、首尾は何うだね早「安心しな大丈夫だよサア這入り庄「オイ來た」



제472호 1910. 8. 3.

東京電報

▲韓太子歸京期

山陰山陽巡遊中なりし韓國皇太子は六日午前八時御歸京の豫定なり（二日）

▲犯人引渡交渉

日露協約成立後兩國は互に極東に於ける領土保全を確保すると共に其の國境若は領土内に於て事故の生じたる場合は和親を主として事の解決を與へんが爲めに兼て犯人引渡の交渉を爲しつゝあるが此は外に前例ある事とて交渉極めて容易にして其の解決も遠きにあらざるべしと（二日）

▲首相總裁會見

政友會總裁西園寺侯は本日上野發列車にて避暑の爲め輕井澤に赴き桂首相も又同地に向へり首相總裁は同地にて會見し韓國に關する重要問題に就き協議の爲めなりと傳へらる（同上）

▲生蕃討伐難聲

臺灣總督府にては頃日來屢々生蕃の討伐を企てつゝあるも右は阿里山經營の豫備作業にして生蕃の頑強なる抵抗に遇ひ總督府にても今更意外の感あるものゝ如し元來彼等は常に山谷に潜み自ら進んで人民に被害を及ぼすものにあらざるも其生存の根據を奪はれんとせば勢ひ頑強なる抵抗を試むるは又當然の事なり今回の討伐も三四回發表せば屏息せんと豫期したるに基くものにして計畫の失態に就ては近來少なからず當局者非難の聲あり（同上）

▲白瀨中尉發期

白瀨中尉は軍艦盤城を借り受け九月初旬南極探險の途に就くべし（同上）

▲東京地方大雷雨

昨一日午後より東京地方に大雷雨あり各所に落雷し殊に板橋町は落雷の爲め即死者一名氣絶者二名を出し其の他農作物の被害甚だし（同上）

▲社會主義者密謀

青年社會主義團領袖にして中外通信社員たる佐藤庄太郎は或る重大なる密謀露見し昨一日東京地方裁判所豫審判事の令狀を以て拘引されたり（同上）

▲スンガリー問題

スンガリー問題は支那露國の既得權を承認して解決を告げたり（同上）

▲渡邊渡氏の快方

滯英中なる鐵道院顧問渡邊渡氏は倫敦に於て病魔に罹り一時重患なりしも手術の結果昨今は良好に向へり（同上）

北京電報

▲南清又々不穩

公安府又々暴徒蜂起盗賊猖獗を極めつゝあり右は長砂に起れると同樣農作の不况により飢民等集合して騷擾を爲せるものなり然して此等飢民の中には革命黨の分子潜み良民を煽動するものあり今や南清一帶の地は此等革命黨存在し居る形勢あるを以て一時鎭壓し得べしと雖も農作不况の狀態癒えざる限り各地とも鎭靜は望みなかるべしと（二日）

倫敦電報

▲世界一の巨艦

智利國は三萬二千噸の世界第一の巨艦を英國に注文せり（二日）

桑港電報

▲鐵道工夫罷工

米國オハヨー州コロンバスにて鐵道工夫の同盟罷工盛んに起り三千の兵士戒嚴せり（二日）

雜報

▲韓皇后の御答禮

韓國皇后には二日午前十一時奉保夫人を又嚴妃は吳夫人を御使として統監邸に差遣し一日統監夫人參内獻品の答禮を述べられたり

▲大臣會議の模樣

二日午前八時三十分李總理大臣は寺内統監を官邸に訪問懇談少時辭して九時前後より朴内相趙農相高度相閔宮相等相前後して統監邸に參集して大臣會議を開會寺内統監山縣副統監有吉總務長官以下各參與官列席したり右は別に重要問題ありしにはあらで新統監着任後は多用の爲め大臣會議を開會するの機會なかりしが偶々定例會議日に相當するより形式迄に第一回の大臣會議を開會せし次第なりと

▲暴徒に銃器供給

京城西小門外冶洞居住李晩榮なる者は前議官の職にあり正三の身分を有する者なるが暴徒に武器彈藥を供給する嫌疑あり七月廿八日京城憲兵第一分隊の手に於て捕縛し調査せしところ主に黃海道地方に徘徊する暴徒と連絡を保ち去る四十一年一月頃京畿道及黃海道に徘徊せる首魁申必守の依賴を受け銃器購入の爲め金二千六百圓を申必守より受領し銃器を購入せずして該金を消費したりと申立てたるも同人は四十二年三月頃賊魁韓具滿の依賴により拳銃、双眼鏡、三十年式銃彈藥等を密かに交付したることあり家宅搜索の結果三十年式實砲百四十四發地中に埋匿しあるを押收したるが黃海道に於ける巨魁李鎭龍等の携帶武器彈藥は曩に京城より供給し居れりとの說ありたるは今日始めて其經路を發見するに至りし也と云

●慶北地方養蠶成績

農商工部が本年各道に日本蠶種を配付して養蠶を奬勵したることは既報したるが其成績に付き慶北觀察道よりの報告左の如し

春蠶種は各地とも成績最も良好にして日本蠶種の利益あることを知得し從つて夏蠶秋蠶種の請求をなす者多數あり殊に來春は尙州、咸昌、奉化、醴泉の如き養蠶の盛なる地方に於ては在來の韓國蠶種を飼育する者なきに至るべし奬勵の初期に於て良成績を得たるは將來の進步を期するに足る今配付蠶種量と收繭量を郡別にすれば左の如し

郡名	配付蠶種枚數	收繭量
大邱	一四〇枚	一、八八九升
慶州	一五〇	一、二[illegible]二
尙州	一四〇	二、八〇〇
星州	一五〇	一、〇〇〇
義城	一六〇	一、九一五
安東	一四〇	一、三四二
醴泉	一〇〇	八九七
金山	一〇〇	七三
善山	七五	一、二三四
河陽	[illegible]	一〇
龍宮	一〇〇	二、四二一
漆谷	一二五	二九七
順興	九〇	一、九一八
仁同	四五	一、〇六〇
青松	一〇〇	九八九
榮川	七〇	七二八
豐基	[illegible]	五六五
奉化	二〇〇	一、九〇三
義興	二〇〇	二、一一〇
[illegible]	五八五	一、一[illegible]〇
新寧	二〇	[illegible]
開寧	二〇	[illegible]
比安	七〇	[illegible]
慈仁	[illegible]	[illegible]
慶山	二〇	[illegible]
英陽	七〇	[illegible]
聞慶	二六	[illegible]
合計	二、一五〇	二三六、一八五

因に配付蠶種量は地方費を以て[illegible]より配付せしものは七百八十枚なりと云ふ

●慈惠醫院豫算發表

各觀察道所在地に設置せらる筈なる内部所管慈惠醫院の經費豫算は二日の官報を以て特別會計豫算として左の如く發表せられたり

▲内部所管

歲入の部

經常部 第一款 慈惠醫院 金七萬千八百二十圓
第一項 政府支出 金六万二千五百圓
第二項 醫院收入 金九千三百二十圓

臨時部 第二款 慈惠醫院臨時受入 金八萬二千三百六十圓
第一項 政府支出 金八萬二千三百六十圓

歲入合計 金十五萬四千百八十圓

歲出の部

經常部 第一款 慈惠醫院 金八萬四千百八十圓
第一項 俸給 金二万二千二百五十圓
第二項 廳費 金六千圓
第三項 修繕費 金千二百五十圓
第四項 旅費 金一万四千九十七圓
第五項 雜給及雜費 金一万千六百三十二圓
第六項 舍宅料 金五千五百圓
第七項 被服費 金六百圓
第八項 醫務費 金二萬千八百五十圓

臨時部 第一款 慈惠醫院臨時設備費 金七万圓
第一項 慈惠醫院臨時設備費 金七万圓

歲出合計 金十五萬四千百八十圓

●小學教員夏期講習

去月廿六日より八月六日迄十二日間京城教育會主催小學校教員夏期講習會を南大門小學校内に開設したるが申込學校は京城は元より仁川釜山元山咸興太田濟津新安州新義州木浦群山等在韓各地日本小學校百十四校にして日日の出席者は平均百二三人にして尙韓國側學校の同人數官六七名も便宜聽講しつゝあり因に講師及課目は左の如しと

教育 東京高等師範學校講師 佐々木秀一郎
敎授法 同
地理 學部 上田駿一郎
遊戲 韓國師範學校敎授 橫木拾次郎
課外講義 統監府 長谷部鍋太郎

●李範允の勢力失墜

彼の排日黨の首魁李範允は目下露領沿海州ノーキエフスクに在りて頻りに風雲を觀望し居るが彼は近來倍々貧鈍の傾向ありて曩日の聲望も遂に失墜したる去り例の軍資金と稱して醵出せしめたるものも之が使用を許されず殆んど困頓を極め居れり茲に於て彼は時局の進展と共に大に事を擧げん抔と誇稱し頽勢の挽回に腐心し居るが一般に於ては彼の到底爲すなきを憤はり此際之を屠ふり去らんと鼓譟き目下露領一帶の排日韓人團中之が爲めに支離滅裂の兆なりとの報あり

●統監歡迎會の準備

三日京城ホテルに於て催す統監副統監歡迎會の順序は既報したるが出席者は民間より百二十名官邊より二百十餘名之に來賓十三名發起人五名を加算するときは實に三百五十名の多きに達し會場の設備或は不行屆に終るなきやを慮り發起人は昨朝來頻りに奔走し居たり

●水產局員等の繁忙

免許漁業出願者意外の多數に及びたる爲め水產局にては迅速に解決をなし出願者の利便を計らんと局員一同熱心に執務し正午の定期退出時刻になるも顧みず毎日日沒時迄も居殘りて堆積せる書類中に埋もれ酷暑と戰ひ居れり

●全南各地の水害高

内部調査に關する全羅南道の各地に於ける七月一日より二十六日に至る水害高は左の如し

死者七 家屋流失六十八 家屋崩壞二十八 同浸水九百三十一 田畑流失百六十五町步 同浸水三千五百四十七町步 道路破損八十二箇所 堤防決潰四十四箇所 家畜五十二 見積價格三十九圓 農物被害面積五千三百六十九町二反步 橋梁流失九十六箇所 同破損三十八箇所

●民團滯納税と差押

民團第一期税金未だ納付せずして兩度督促狀を受けたる者にして猶は未納者あり民團役所にては今一回督促を發したる上納付せざるに於ては遠慮なく差押處分をなすと云ふ

●在韓者の戰役行賞

在韓國に於ける三十七八年戰役功勞者として各民團長及び各新聞社に對する分は其筋に於て調査中のところ愈々統監府より進達濟となれり

●統監官邸の午餐會

目下仁川碇泊中の米國東洋艦隊司令長官以下は二日入京統監を訪問し午餐會の催しありたり

●三浦教育會長招宴

京城教育會長三浦彌五郎氏は二日夜京城ホテルに目下開會中の夏季講習會講師及役員を招待し慰勞宴を張る由なり

●京城教育會の例會

京城教育會にては來る四日午後八時より日本人商業會議所樓上に於て倶樂部の例會を開き法學士加古貞太郎氏の講演あり尙は筑前琵琶其他の餘興等あり

●曾禰子へ最高贈勳

韓皇は前統監曾禰子爵に對し七月三十日付を以て最高位の金尺勳章を贈與相成りたるを以て一日統監府より發送の手續を了せり

●明石司令官の招宴

明石憲兵隊司令官は二日官邸に於て韓國元老大臣等を招待し晩餐會を開く筈なり尙二回三回の招待會を近日開催すべしと

●大臣會議臨時休會

統監邸に於ける毎週火曜日開會の大臣會議は暑中に就き重要問題なき限り今月中は休會する由

●中央大學々員會

在京城の中央大學々員會韓國支部に於ては間島總領事永瀧久吉氏の入京を機とし今三日午後七時より歡迎會を催ふすに付學員諸氏は京城通信社へ申込べしと云ふ

●總監部の職員錄

警務總監部職員錄此の程完成各官廳に配付したりと

●贈諡

今回左の贈諡ありたり

文敬 贈李閣提學 宋翼弼
文貞 贈内部大臣 李仲虎
忠憲 贈領議政 崔淑生
文簡 贈内部大臣 權正忱
肅敏 贈内部大臣 奇正鎭
文靖 故贈農商大臣 嚴正水
忠肅 故内部大臣 趙秉弼
忠壯 故知中樞府事 李[illegible]
故統制使 閔濟章

●敍任辭令

左の通り辭令ありたり

大韓醫院醫官 宇野功一
兼任大韓醫院敎授

外人の見たる半島

KOREAN PENINSULA.
AS VIEWED BY A FOREIGNER.

一外人記述

はしがき

題して「外人の見たる半島」と云ふ思ふに其觀察や極めて外人的にして讀者諸君の意に滿たざるの箇所多かるべきを信ず、而かも本紙が之を知りつゝ茲に採錄する所以の者は時節柄外人の半島觀を紹介するの强ち無要にあらざるべきを信ずるを以てなり、但し内容の標題に伴はざるが爲に讀者諸君より受くるべき叱責は本紙の甘んじて受くるところ、豈に寄稿者に其責を嫁すものならんや。

譯者記

▲余は日淸戰役前より日本に住し、日本語を解し、日本の官民間に多くの友人を有し、日本の國情を幾分解し自ら日本通を以て任ずる一外人だ、余は仔細あつて茲に余の姓名と國籍とを公表せぬ、併し余のプロヂヤバンなることは余の言說に依つて他日明瞭となることと信ずる。

▲余が初めて半島を見舞つたのは千九百六年で丁度マルキス伊藤が第一の統監として大傘を翳しつゝ京城へ乘り込まれた際であつた、爾來余は數回對馬海峽を往復した、ソウして最近に於ては暑中休暇を兼ねて京城に來て、目下はソンタクホテルに宿つて居る。

▲高麗、朝鮮、大韓國、名は幾つもあるが要するに一の半島國だ、半島國は世界に幾つもある、伊太利、希臘、瑞典、那威、バルカン諸國等が乃ち夫れだ。

▲歷史から云へば半島コレアは其古さに於て希臘伊太利に比すべきものだ一國都の開城に於ける滿月臺に登臨すれば羅馬の廢墟に均しき古城跡が見られる、併し夫れは單に外形の事だ、▲瑞典や那威や其國民が寒氣と戰つて起つた國だ、半島コレア人も古來より沍寒と戰つて來た國民だ、併し瑞典那威國民とは反對に沍寒を防ぐ爲の薪炭採集の奔命に疲れて仕舞つた（以下次號）

市原總裁の上京

市原韓國銀行總裁は鑛會參列の爲木村理事を隨へ一日夜南大門驛發東上せり

永瀧總領事の談

一日夜入京したる間島總領事永瀧久吉氏の間島談に曰く間島に於ける韓國人は昨年迄八萬二千餘なりしが本年は十萬八餘に增加せり此原因は韓國領より間島の地味豐饒なるを以て漸次間島に入込む者多き故なり▲淸國人は間島なる名稱を嫌ひ間島を延吉と稱し居れるが渾春及間島を行政上の一區劃と爲し淸國政府は渾春に道臺を置き三營の兵と一營の巡防隊あり先頃は李範允の一派間島を襲ふべしとて多少警戒する處ありしが何事もなくして止たり尤も彼の地に於ける主魁の名前は判明しあり▲淸國政府は先年是等の者を義軍と唱へ一時利用したることありたるも近頃は土匪と稱して注意を怠らざる如し▲間島に於ける地税は洵に少量にして韓人は重に小作人なり▲鹽は淸國の國法として輸入を許さゞる故牛莊よりポセツト灣に運搬し渾春を經て來るものなれば從來の韓國鹽に比較し約二倍の高價となる故韓人は此點に就て著しく困難し居るなり▲學校は統監府出張所の在りたる當時に於ては多少見るべきもののありたるも近來は其費用なき爲め之れを維持する能はず僅かに一二を殘すのみなりと云々

●民團の施政と助役

時局解決後に於ける施政が居留民團行政に如何なる影響を及ぼすやは今日の所にては疑問なれば京城民團に於ては當分の間現狀を維持する方針にして京龍合併の一條件とも見るべき民團起債の如きも理事官は今俄かに決答を與へざるに從つて龍山側の一部民團議員は大村百厰を增加助役に推しつゝあるも民團施政の根本方針が既に前記の如くなるのみならず大村氏を助役となすことに就ては京城側には八分の反對あり龍山側にても反對者多きを以て當分物にならざる模樣なり

●水產會社の水揚高

仁川水產會社に於ける七月中の水揚高は一万八千二百五十圓にして之を昨年の同月に比較する時は約二千八百七十一圓餘を減額し居れるが係は降雨連日なりし爲め漁業に從事する能はざりしに起因するものなり尙は昨今の狀況を聞くに最も多數なるは鯛之れに次ぐはニベ、メバル、鱠、海鰻、エビ等にして漁場は德積島より大靑島方面に及び目下仁川を根據として出漁する漁船の數は約三百五十隻に上れり而して之れが出漁船は熊本縣最も多く愛媛、福岡、岡山之に次ぐと云へり

●韓銀貨幣發行週報

（自七月二十四日至七月三十日）

（一）銀行券總發行高	一三、六五一、七八六
内 正貨準備發行平均高	五、四九三、六四三
保證準備發行平均高	八、一五八、一四三
（二）手許有高銀行券平均	六七四、七三一
（三）市場流通銀行券平均高	一二、九七七、〇五五
（四）硬貨發行高（七月三日現在）	六、四六九、一一五
内 金貨二十圓	一、八五〇、〇〇〇
同 十圓	五五〇、〇〇〇
同 五圓	五〇〇、〇〇〇
銀貨五十錢	九二一、〇〇〇
同 二十錢	一、五二五、八〇〇
同 十錢	一、一〇五、〇〇〇
白銅貨五錢	六一一、〇五〇
青銅貨一錢	二七六、七九〇
同 五厘	七九、四七五

▲京城手形交換高▼

八月	金高	枚數
二日	一五一、九八〇、〇七五	三九三

●仁川の穀物在庫數

仁川に於ける七月末日の調査に係る市内各銀行倉庫並びに瀛船會社の穀物在庫數を聞くに白米四千八百十六叺、玄米二萬〇九百八十四叺、大豆五千三百四十一叺、小豆四百八十六叺、粉米二百五十叺、小麥三百六十五叺、粟二十叺、籾一萬二千百四十一叺なりと

●宋秉畯氏の歸京期

宋秉畯氏は來る八日馬關出發聯絡船に乘り京釜列車にて十日頃入京する旨或る筋に通報ありたりと

公人私人

▲高橋直行（平安農銀支配人）一日平壤より入京天眞樓へ投宿
▲遠藤裕（光州地方裁判所檢事）一日光州より入京浦尾へ
▲木谷表（福井縣會議員）一日釜山へ

龍山通信（二日支局報）

▲署長精勵 龍山には頃ろ二三ケ所に流行病患者を出せり濱島龍山署長は自ら現場に出張して患者の隔離より消毒に至るまで遺漏なく之れを執行せり又二日前廠浦なる或工場に瀛機の据付けを爲せしに署長は部下の巡査を伴ふて工場に臨み或工學士に請ふて機關の組立て及運轉等に關する說明を聽取せり之れは工業警察上一部の知識を部下に得しめんが爲めなるべし右二件の事を警察署長が爲せばとて何の不思議も無き樣なれども吾輩は特に署長精勵と題して之れを通信するの決して徒爾ならざる理由を有す

▲助役推薦 昨日の紙上龍山側職員は去三十一日午後七時より增任助役候補推薦會を開き大村百厰氏を擧げんとしたるが反對者多き爲め不得要領にて散會せりてふ記事を揭げしも其後確め得たる處に依れば全然前揭の事實を否認せざるを得ず第一龍山側の職員は殆んど一致して熱心に大村氏を推薦せんとするものゝ如く次て三十一日の推薦會などは跡も形も無きことなり委しくば今三日開かるゝ筈なる委員會の結果と共に分明すべし

▲論外法權▼

我邦人はドウ云ふものか米國の民主黨を貶し、共和黨を揚げんとするの癖を有する樣だ、之は一見何でもない樣な事だが深く考へると馬鹿な話だ▲モンロー主義を破り西米戰爭をやり、布哇やフリツピンを合せ、今正に淸國に於て我と角逐せんとするのは共和黨の政府だ、由來米國の政府が共和黨の手にある間は其事する帝國主義の爲に我と兩立は出來ないのを知らずや諸君往年下田港駐在の總領事として時の我政府に外交上勸から援助を與へたタウンセンド、ハルリスは民主黨出身の人だ、亦近く統監府の外交顧問として働き、自已の生命を捨てし怨みざりし義人ステーブンスも民主黨出身の人だ、ルーズベルトやタフトや數らエラクても我とは兩立の出來ぬ代物だ、邦人の共和黨ヒイキは心得違の沙汰だ▲今度臺灣の民政長官事務取扱になつた宮尾舜治は書生の時瓦煎餅屋をやつて學資を作つた男だ▲今度發表された韓國瓦斯電氣株式會社の發起人中には釜山以外の在韓邦人は一人も加はつて居らぬ、之は畢竟半島の經濟界が縱斷されずに橫斷されてる證據だ▲龍山の統監邸は四十五萬圓の値打は立派にある、併し過日の宴會に於て或る佛人が間取りの惡いことゝカアペツトや諸道具の安ボイ事を話しつゝあつた▲京城の官吏、銀行者及商人を以て組織されてあつた惡友會は會長の内地轉任と共に解散されたソウだ、信用を重ずべき銀行者迄がコンナ會に屬して居たとは呆れ果てたものだ▲京城商業會議所が課金取立の方便として特別議員を置くのは人を馬鹿にした話だ、山口新會頭はコンナ惡制を改むべしだ。

●慶北地方養蠶成績

[illegible]も成績最も良好にして[illegible]益あることを知得し從つて[illegible]の請求をなす者多數あり[illegible]奉化、醴泉の如き養[illegible]方に於ては在來の韓國蠶種を飼育する者なきに至るべし獎勵の初期に於て良成績を得たるは將來の進步を期するに足る今配付蠶種量と收繭量を郡別にすれば左の如し

郡名	配付蠶種枚數	收繭量
大邱	一四〇枚	一、八八九升
慶州	五〇〇	[illegible]
[illegible]	一四〇	[illegible]
星州	五〇	一、〇〇〇
義城	一六〇	一、九一五
安東	一四〇	一、三四二
醴泉	一〇〇	八九七
金山	一〇〇	七三
善山	七〇〇	[illegible]
河陽	[illegible]	[illegible]
龍宮	一〇〇	[illegible]
漆谷	二五	二九七
順興	九〇	一、九一八
仁同	四五	一、〇六〇
青松	一〇〇	九八九
[illegible]	七〇〇	[illegible]
豐基	二〇〇	[illegible]
奉化	五二〇	[illegible]
義興	八五	[illegible]
新寧	二〇〇	[illegible]
開寧	二〇〇	[illegible]
比安	七〇〇	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]
英陽	二〇〇	五八
聞慶	二六	二九
合計	三、一五〇	三六、一八五

因に配付蠶種量は地方費を以てしたるもの[illegible]より配付せしもの[illegible]七百八十枚なりと云ふ

朴淵に遊ぶ(下)

▽最も好適の避暑地

炭峴を下れば左側堆畝の間に二石柱を認むべし之れ麗朝時代祠門の大學林たりし歸法寺の遺跡とかや溪水潺湲として此の舊址を弔ふ人に聲なくして訟に顧あり閑寂裏に大古の如し此の境に在りて彼の禪に遊べりしを偲ぶ林下風なふして清涼の氣心字に生ずるを思ふ林間に古墳の點在するは彼の高麗塚なりとが襟を潤ふて北すること須臾にして一石橋の溪流に架するを見るべし碑あり題して心字橋の三字を刻す山脚左右に交叉し溪水心字形をなして流る故に此の名ありと橋態又雅致に富む橋を過ぐ瞼坂あり含畜峴と云ふ二路あり右すれば即ち一里餘にして靈華寺に達すべし左方は即ち古陵谷にして此れより山道漸々狹く雜草交錯して時に道途を辨せざることあり前路遙かに山嶺を望めば大興山城の墻壁蜿々として長蛇の如く連亘するを見る南門は其斷崖に倚り屹然として聳へ立ち麗朝昔時の盛容を語るもの〻如し進むに隨ひて谿谷益々深く林容又漸く深山の趣を加へ楓、楡、槲等の大樹を散見す路傍老樹參差として陰を成し巨巖三四之れに踞し溪水激して又潭となり涼氣人に逼るの邊石を以て甃ける方二坪ばかりの臺あり行客の休憩に便せるものなり前面の巖頭に槐亭と對す亭後の絶壁に瀑あり大ならざるも老松の崖に懸る景[illegible]り槐亭を過ぐれば[illegible]乘さもに可なら[illegible]一路漸く南門に通[illegible]南に放てば江華喬桐[illegible]し漢江の大流滔々と[illegible]臨津禮成の二江と合[illegible]するを見るべし門を[illegible]頽敗せるを弔し天摩[illegible]寺を訪ふ寺は近く祝[illegible]なり殿堂一二を殘[illegible]の見るべきものなく[illegible]を見るのみなるも道[illegible]の盛を窺ふに足るべ[illegible]廟を築し出づれば洞[illegible]餘丈恰も天斧を下せ[illegible]て聖居の高峰を望め[illegible]瀟山奇景ならざるな[illegible]老松又古怪ならざる[illegible]亂堆し水之れに激し[illegible]淵となる一條の棧道[illegible]折旋回なるを知らず[illegible]時に危橋ありて之れに架せらる景趣妙[illegible]游子をして恍惚たらしむるものあり若し夫れ五七日の閑を得天幕臥床食料を用意して此の間に起居せば得る所蓋し冷風涼氣のみならんや(爾田生)

獨逸皇族の弔電

▽鐵嶺丸の遭難につき

曩に日本觀光を終へさせられ鐵嶺丸の大連行に便乘ありし獨逸聯邦國アルブレヒト親王殿下には太く同船の優遇を喜ばれ深厚なる謝辭を遺して出發ありて既に獨逸國境に差蒐られし時ゆくりなくも同船沈沒の悲報を耳にせられて太く哀悼の意を表せられ廿九日珍田駐獨大使の手を經て中橋商船會社長に宛て「鐵嶺丸の遭難を聞き大坂商船會社及び船長の家族に對し深厚なる同情を表す」との弔電を寄せられたれば中橋社長以下一同竦れる殿下の御同情に感激し居れり

孝心深き伊藤船長

△夫人に與たる最後の書翰

廿八日攝津西の宮に淋しき留守を泣ける鐵嶺丸船長伊藤峻氏夫人鎭代子は訪客に語りて曰く「其後未だ確かな報知もムいませぬが何うやら樂觀說も空賴みらしうムいます」と眼を屢叩き「夫の書翰ですが茲に七月五日に門司から出たのがあります若し死んだものとすれば是が最後の手紙でムいます」と示す見れば過般來遊されし獨逸聯邦攝政王を乘せて大連に到りし際夫人に宛て送りしものなり其中に

「昨日は如何ご思ひ居りしに案外にも御獨りにて御來船の勇氣には感心致し候(夫人の船を見舞はれしを指す)幸ひにも私一生の再び遭遇するや否や知れぬ名譽の模樣を其許にも見せることの出來しは嬉しく御座候去れば若し此樣を父上樣に御目に懸けしならば如何に勇み如何に御喜び相成候ひしやとそれを思へば實に殘念の限りに御座候父上樣御來宅の節は私に代り粗忽の無き樣呉々も御注意被下度しされど御身も身重にて立働も困難なれば身體を痛めぬ樣被成度(中略)偶然にも伊藤公爵(博邦氏)より其許に挨拶を賜はりし事は名譽に御座候(下畧)」

とあり伊藤船長の孝道に厚きは豫て聞く所なるが之を見て一層其感を深ふしたりと語れり

生命は捨てても義理は捨てぬ

▽驪落女の大氣焔

原籍岡山縣岡山市大字小原町當時吉野町堀吉次郎(三十)と云ふは相當の財產もあり且つ妻子もある身分なりしが本年四月二十三日の事友達に唆かされ同市西中の島町の貸座敷金蔦に登樓遊客したるが病み附きとなり切々と通ひ居る內樓主幸吉の姪小玄(二十)と妙な關係を附けたるに間もなく叔父幸吉の眼に止まりたるより幸吉も一旦困つたことゝ首を捻りしが斯う云ふ事に掛けては至極融通の利く男とて吉次郎が相當資產を有するを知るより思案を換へ見て見ぬ振りの粹を利かして小玄にも心得させて自由に振舞はしめしにぞ元より山と積みたる金ならねば家財は夙くに費ひ果し手の回るだけは借金して小玄に注ぎ込みたる末はれ定まりの墮落話し小玄とて初めから錢取り主義で掛つた事でなければ遂に相談一決し小玄は吉次郎と大阪能勢の妙現寺に參詣すると稱し岡山を跡に馬關に一泊し連絡船に搭じ渡韓し京城に着し旭町二丁目東海旅館に投宿したるは本月十一日の事なりしが兩人とも是れと定まりたる目的のあるにあらねば兩三日滯在し居る中小玄が賴みたる女髮結と云ふが中の新地住國末某の妻にして同じ岡山生れと云ふ所から話し合ひたる末吉三郎が同鄉の友人長谷川德次郎が明治町に菓子商を營み居ることさへ分明したるか猶嵩めば前記自宅の裏に借宅し與へ更らに小玄を中の新地れ老福亭へ通ひ仲居として周旋したり然るに一方小玄の實家にては其の後行衛搜索中の處漸く此の程に至り兩人が當地に居ることを聞き込み幸吉は取押への爲來韓し西部署に宛て歸國說諭を願出でたるより去る一日兩人を呼び出し右說諭したるに係官に對し小玄は第一家財は費はせ妻子迄も捨てさせたる吉三郎に對し自分一人歸國すべき義理合にあらず強いて歸國せよとならば死んで言ひ譯けすると頑として其の說諭に應せざりしと妻子あるものと總に落ちたる一旦の不心得は兎に角として一片の俠氣は寧ろ愛すべきものあり

●谷川三藏の不埒 私印私書僞造行使詐欺取財被告人谷川三藏が桐原前南部署長の特別保護を受けたる如く法廷に於て申立てたるやに就き其の眞想を探りたるに右は全然三藏が虛構の事實にして桐原氏は曾つて彼れが善からぬことのみ爲すを耳にせるより一日之れを召喚して嚴諭する所ありたるに彼れは前非を悔ひ正業を求むべく言明して退出したる後日ならずして同署長を訪ひ撒水業を開始すべければ相當れ口添へを願ふとの事に同氏は之れを以て至極必要なる事業と思惟し一旦改悛を喜ぶものから各衛生組長に對し相當便宜を與へられたしと紹介したるなり然るに彼れは何か他に同氏と因緣あるらしく吹聽し累を同氏に及ぼしたるなりとは憎む可き所業ならずや

●三人寄て金三圓 壽町二丁目二番戶ブリキ職小林定次郎方雇人岐阜縣人鈴木廣及友人桑石長三郎外一名は七月三十一日午後十時頃花園町料理店東雲樓に登樓し翌八月一日午前四時頃まで散財したる金三圓六十錢の計算書を突き付けられ三人共懷中無一文にて樓主は此の頃の不景氣に三圓六十錢を引つ懸けられてたまるものかと顏色變へて嚴重に催促するより一人は一寸便所にと客室を出で二階より飛び降り逃走せしに樓主は殘る鈴木桑石に催促するに逃走せし者の變態で來た者なれば知らぬと云ふより結局警察問題となり銅峴分署に持ち出し所持金三圓を支拂ひ殘六十錢は逃走せし一人發見次第支拂ふ事になり說諭の上放還

●大難が小難で濟 明治町二丁目料理店三樹屋林つや方の二階西側三疊の南角の柱に掛けありし釣ランプ油壺に火が入り異樣の物音するを咋一日零時四十五分頃八疊敷に寢て居た酌婦かね之を發見し家人增太郎を呼び起し增太郎は直ちに起き火の入りたるランプを表口に其の儘持ち出さんとする際油壺は疊の上に落ち八方に散亂し大事に至らんとせしを增太郎が必死となり蒲團を持ち出し消し止めたるが此時增太郎は着衣に火が燃へ移り腰卷を燒き治療日數四週間を要する火傷を負ひ目下贊化病院に入院治療中にて損害は約四五圓位にて大事に至らざりしは不幸中の幸なり

●南部の清潔執行 南部署にては左の日割を以て臨時清潔法施行すと(三日)旭町、南山町全部(四日)本町一丁目より九丁目に至る及新町全部(五日)壽町、倭城臺、日の出町、大和町全部(六日)明治町、昭町全部(七日)長谷川町、黃金町、羽衣町全部(八日)北米倉町、南大門通、太平町全部(九日)若草町、永樂町全部(十日)櫻井町、花園町、竹園町全部(備考)附屬韓人部落を含有す、或町は全部とあるも當署管內のみたること、雨天の時は順次繰下のこと

▲清潔方法 大小下水溝を浚渫すること、井戶浚を行ふこと、腐朽せし戶緣は改修すること、家屋內外を掃除し廚塵芥に流し先きを清掃すること、便所の周圍を清掃すること、廚器寢具衣類其他の家具は悉く屋外に出して日光に曝すこと、家屋は互に建具を取外づし其內外を掃除すること、床下其他不潔濕潤せる土泥を取去し乾燥土砂と入れ換ふること

●益々御勉強なり 仁川仲町一丁目居住の山口縣生れ仲仕業三吉芳藏(三七)同支那町同縣生れ福田音太郎(三〇)は各自宅の街路より見透し得る場所にて裸体になり居たるを巡回中の警官に見咎められ一昨日各々大枚三十錢の科料に處せられしが尙宮町三丁目飲食店日野つね(二四)は人前をも憚らず片肌抜ぎとなり乳部を露骨に現はしたる廉に依り同日科料五十錢に處分せらる

●コソドロの處刑 七月十七日の紙上に馬丁上りの小泥棒と題し埼玉縣北埼玉縣加須町三百七十二番地當時階町九十八番戶西山只七方居住木村善一(三〇)が六月十五日憲兵某將校の馬丁に傭せられし後友人の金品を窃取して秋場檢事の手に起訴せられし事は既報の通りなるが爾來京城裁判所に於て審理中の處一昨一日懲役四ケ月に

●藤さん勘辨しな 仁川新町二丁目金物商楢木藤太郎は一昨日同町にて八圓五十錢入の財布を遺失したる旨訴出でしにぞ係警官は探查したるに平洞居住の池明市と云ふが拾得せるやの形跡あるより同人を取調べたるに案に違はず右財布を所持し居りたるのみならず內一圓餘を既に費消し居りたれば直に押領罪として拘留さる

●掏摸親分の公判 仁川署の手に捕へられ其後仁川裁判所に送致され審理中なりし掏摸の大親分なる自稱大阪市北區南森町住所不定の太公事引田太市(三八)に對する公判は本日午前十時より同裁判所第一號法廷にて開廷せらるゝ筈なり

●五十歩百歩だね 仁川敷島遊廓日進樓の義太女郎として可なりの盛名を擲せし圓助は枕渡世がつくづく厭になつたとて一昨日限り仁川署に鑑札を突き戻し更らに京仁間にて覺束なき三味線を握つて現はるゝと云ふが讃めて好いやら惡いやら

●荷車少女を轢く 西部盤石坊治洞崔聖初(二八)韓聖國(二八)の二名は八月一日午後十時頃西小門外十字路に於て穀物を滿載したる荷車を曳き行く際過つて韓少女驛(七つ)の右腿骨を轢き重傷を負せたるより西部署に突き出され目下取調中なりと

●學生遺骸を迎ふ 慶尙北道安東郡に於て七月上旬暴徒に殺害せられたる中部普成中學校生徒安商德金箕哲の死体昨二日午前十二時二十分南大門驛着列車にて歸着に付中部普成中學校外三校の生徒三百餘名は停車場に出迎たりと

●料理店主の會合 第一種料理店集會を昨二日南山町松葉亭に於て開會取締りの改選規約の改正等に付協議する所ありて南部署長今村警視は臨席して衛生上風儀上防火設備客の待遇振女藝妓等の契約所遇等に付懇諭せられたりと

●西部の清潔執行 西部署に於ては今三日より向五日間を期し管內臨時大清潔法を施す可しと

目と耳

▲浪花館 廣八一座三日の代り番組御祝儀賓の入船(入登)朝顏日記宿屋の段(廣吉)朝顏日記舟別れの段(越濱)花の上野志度寺の段(此重)菅原手習鑑寺子屋の段(此千代)日吉丸三段目(仙春)攝州合邦ヶ辻(閑照)廿四孝十種香の段(越春)鰻谷の段(廣八)大切白石噺揚屋の段(總掛合)

▲壽座 源氏節芝居一座の代り狂言は「天の橋立出過の仇討」にして重なる役割左の如し岩見重太郎、廣瀨軍右衛門(美高)岩見重藏、赤星主膳(尾之吉)下郎定平、松原平左衛門(淺吉)植松藤平(菊枝)大川八右衛門、大日五郎左衛門(福司)船頭(花尾)成瀨大學、松原番頭(照代)重藏の妹れ辻(若々女)伊藤直之助(福吉)楊原の倅平三郎、舟平(金福)船頭(美代丸)諸士(花子)又作、君子)源氏節出語(美家登司)

▲平民文庫▼

▲僕が過日の本紙三面上段に載せた小料理店主の不平と題せる記事に就き一營業者は斯う云つて寄起した▲君の御說は實に公平無私一點の依怙もない併した公平無私決して背祭に當るとは云へぬイヤ少くとも皮を穿ち肉を貫して骨に及ぶものとは云へまい君の論も惜むらくは其の骨に達しない憾みがある▲恐くは君は未だ小料理屋の門先も覗いた事のない品行方正の御身なるが故に內情を詳知せない從つて所論遂に皮想の譏りは免れぬ▲下級官吏の營業者に對する取締方は君の想像するが如き手緩いものではありませんと▲僕も無論褒められたのでないことは明瞭だが品行方正は恐れ入つた▲兎に角平民文庫に投書なぞして壁訴訟する斗りでなく組合內で一の案を立てゝ其の筋へ願書でも提出する勇氣はないのか(むの字)▲大和町一丁目に住む古賀と云ふは新玉城附近の或役所に勤める人だそうなが其の家庭の亂脈はれ話にならない夜晝出入するものは商人又は交換手なぞで大きなことを吹いて居ると聞いて居る喧嘩もする近隣では大こぼし(照魔)▲筑前琵琶讀りたし(旭町一の四六方ケイケイ生)▲一讀者へ統監府普通文官試驗は本年未定なりと思はれ答への必要なしと思ひます(係)▲長谷川町本願寺の春山坊樣よ餘り猫を冠らずとも表裏なく本分を忠實に盡しては何うか說教も天保時代の受賣は止めて時世に適する樣にせよ(一信徒)▲明治町三丁目の日の丸旅館の女將は常陸山然たる体軀を引き摺つて云々の投書は事實か何うかは知らぬが不穩の意味あるに就き沒とします(係)▲各裁判所の書記なぞに甚だ橫着なのが多い却つて檢事や判事の方が叮嚀である(出入の平民)▲西小門通りの福來亭には裏庭に立派な葡萄棚があつて果が累々と實つて居る熟した時夫れを肴にビールの滿を引いたら、と思ふと此の咽喉が鳴る(垂涎生)▲ウム鳴分グウ〳〵鳴つてるね此所迄聞ねるよ(小僧)

今日の運勢

八月三日(舊六月廿七日)三碧 友引 庚子 執 △一白 金融に關する業務に吉旅行舟出見合せの事△二黑 新事及建築動土見合せの事尙損害失望多き日さす△三碧 縺れ易き日交際取引上注意すべし旅行構住婚談共同の事及開店等業始め見合すべし△四綠 批評に過ふ事あり酒色の破れを戒しむ婚談履入れ開結に吉△五黃 盜害紛爭避くべし建築動土に吉△六白 新事見合せの事疑容にあふあり偶短慮を戒しむ△七赤 職務累を殘し易し新事旅行凶建築農業に吉△八白 徒勞に歸し易き日とす新事訴議金談請願見込なし△九紫 願進の日事業始め開店旅行入學門婚談に吉

●天氣豫報(自二日午後六時 至三日午後六時)

北風晴

三十日(華氏) 最高溫度 八九、六 最低溫度 七四、三

美術牛標帶緞其他紐類各種

京城明治町一丁目
電話一千四百〇九番
ゑり徳商店

一鴨綠江松材現木
長サ八尺五寸以上二間半
一尺五寸角以上二尺迄
右木材多數所有致し居候に付特別安價に賣却仕候間御望の方は御來談被下度願上候

建築業　柴田芝之六
京城旭町三丁目(電話五六八番)

表具部開業
襖額屏風天井壁張及表裝一切並書畫の需用に應す
旭町三丁目三日月湯隣
柴田表具部
主任　網島久雄
眞光小太郎
(電話五六八)

入院隨意
中島醫院
京城壽町三丁目(電話三七八番)
院主醫學得業士　中島貞信

京城曙町(電話一一八七番)

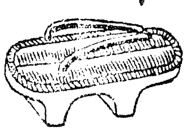
統監府御用
宮内府御用
軸物表裝
金銀屏風
額面襖式
壁張

石川表具店

入院隨意
內外科
小兒病
梅毒淋病
高井醫院
京城壽町三丁目
電話(一二一六)
院長　陸軍軍醫正　高井貞治

●●●滋養と牛乳●●●
純良牛乳
京城東四軒町
岡野牧塲
電話壹〇六九番
馬車配達
●●●衛生と消毒●●●

易斷
通信鑑定料
易相一圓
八相二圓
特別一圓
特別五圓
年齡
年齡寫眞
項目要
要
八相骨相●歸納的推理の一科學性情銳能否其他相對絕對の全運命を豫斷易●萬世不易の大經也
眞理推斷
京城本町五丁目
洽、八宗の數を斷決す
三一館

東京

足袋
本店東京
京城大和町一丁目(日の出橋際)
大和屋
藤井出張店
電話二百〇五番
明治町勸商塲內ニモ出張店アリ
正札付大安賣厘毛引なし安心して買へ升

本店開業拾五ヶ年祝
弊堂開業後滿十五年今日の隆盛は全く各位御愛顧の賜ものに外ならずと確信仕候に就き此際祝意を表すると共に平素の御愛顧に酬ひんが爲め且つ層一層販路擴張の目的にて「タバン」懷中時計三千個及び「アンソニヤ」掛置時計三百個を限り四月一日より九月三十日迄本社の命に依り何方樣へも卸直段にて販賣することゝ相成從つて各位の御便利を計り左記特約店を設置致候間最寄りの店にて續々御購求の程願上度此段廣告候也　敬白
瑞西タバン懷中時計會社韓國代理店
米國ウオルサム時計韓國特約販賣店
米國アンソニヤ掛時計韓國特約販賣店
携帶電燈各種特約販賣店
仁川本町三丁目(電話七〇五番)
時計卸商　喜多金光堂本店
京城本町二丁目(電話一〇一五番)
時計卸小賣　喜多金光堂支店
京城本町一丁目憲兵分遣所前(電話一三二八番)
右特約店　金化堂時計舖
各地方より御注文は發送實費申受候

廣告
前間恭作氏著
韓語通
定價壹圓五十錢
郵稅十錢
今回貳千部に限り壹圓廿五錢にて販賣可致候間御注文の程奉希候
韓國京城本町五丁目
和洋物商金
釘本藤次郎本店
長電話四五番
振替貯金口座韓國(二五六)
電信略號(ク)

無比勉强
かや
わた
關戶蚊帳　株式會社韓國代理店
吳服太物
洋反蒲團
調進
新案特許製綿韓國一手特約店
京城明治町一丁目
唐川商店
電話二六一番

統監府及諸官衙御用
荷物運搬
引越荷物受負
伊藤組
本町三丁目　電話七三〇番
南大門驛　電話九四八番
大和町　電話一六〇八番
同第二　電話四〇番

韓國銀行
當銀行は韓國中央金庫並に日本金庫事務の外預金貸金爲替等普通銀行の業務を精々確實親切に取扱申候
支店出張所
仁川、平壤、元山、大邱、鎭南浦、木浦、釜山、群山、馬山、城津、羅南、安東縣、新義州、
爲替取引先
日本　東京、京都、大阪、橫濱、神戶、名古屋、四日市、下關、兵庫、伏見、東京新大阪町、大坂西區、松山、廣島、長崎、
韓國　公州、光州、晋州、全州、開城、海州、沙利院、博川、寧邊、鏡州、咸興、
淸國　大連、遼陽、旅順口、奉天、鐵嶺、長春、牛莊、天津、北京、漢口、上海、
其他外國　香港、桑港、紐育、龍動、巴里、里昂、

紙と印刷
諸紙
和洋帳簿
印刷
各種製本
諸官衙御用
播本商店
京城本町六丁目
電話百拾番

きゝめのある温泉湯
此の温泉は左の如き病に最も妙なり
一かつけ、痔疾、リウマチス、腰痛、中風、ひぜん、梅毒、りん病よこね、子宮病、血の道、神經痛、やけど、マラリヤ、せんき膓胃加答兒、凍傷、がんがさ、其他內用には鐵冷溫泉を併用すれば尤も効能あり
京城本町一丁目郵便局前
貸席
鐵冷溫泉
電話千四百十一番

京城相生町南門湯横(電話一二九四番)
京城梅毒病院
自午前八時至午後九時
●花柳病專門附、痔疾一般
●入院隨意●
院長　醫學得業士　蘆田耕平

特約販賣自製
味噌醬油製造元
漬物問屋
京城本町五丁目
大上商店
(電話二五一番)
新茶ビール大賣出し

旅館
京城南山町三丁目
京城ホテル
電話長一二三番
四九二番
日本室和食
特等(三圓五十錢)
一等(二圓五十錢)
二等(一圓八十錢)
三等(一圓五十錢)



資本金　一千萬圓
積立金　五百七十五萬圓
明治六年設立
京城南山三丁目
株式會社第一銀行京城支店
電話一一一番　六一一番
振替貯金口座韓國一一一番
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候

祝開店七週年大賣出し
弊店儀開業以來大方各位の御引立に預り日增隆盛に相成難有仕合に奉存候就ては聊か御禮の印として特別の安價を以て販賣仕候間不相變多少に不拘御用命仰付被下度奉願上候
美術、書畫、襖、壁、天井張、
京城壽町一丁目
桂萬吉
(電話六二七番)
同岡崎町　矢島鐵工所筋向
桂龍山支店
(電話架設中)



廣告
民事、刑事、其他總ての訴訟事件の鑑定
貸金證券、賣掛代金、約束手形、爲替手形、其他總ての債權は事件の大小に不拘現金買入
負債、貸金、銀行、會社の整理引受及相談等は懇切依頼に應
貸金請求、家賃取立、小作取立、其他總ての民事、刑事訴事件
右は迅速確實に依賴者の滿足を旨とし事務を取扱ふを以て事件の大小に不拘御來談を乞ふ
京城旭町二丁目百四十五番戶
堤重四郎法律事務所
鐘路典獄後洞廿一統六戶
同鍾路出張所

諸官衙御用
營業科目
和洋紙類
印刷附屬品
印刷インキ
和洋書籍
防腐デシン
穀物食鹽
諸雜料類
委託販賣
東京ランバード商會代理店
東京中外アスファルト株式會社代理店
東京千代田生命保險相互會社代理店
東京博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約
山陽商品合資會社京城特約
藤田合名會社
本社　京城明治町二丁目(電話二三〇番)
出張所　東京南大門通京橋新町一丁目九六三番地電話十二番

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候
資本金　參百萬圓
積立及繰越金　九拾六萬圓
京城南大門通
株式會社十八銀行京城支店
(電話四二〇)
本店　長崎市築町
支店出張所　大阪、熊本、佐世保、厳原、五島、壹岐
韓國　京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、羅州、群山
其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり
貯蓄預金　一口壹錢以上何程にても御預り申候(利息日步壹錢二厘)
長崎貯蓄銀行代理店(十八銀行京城支店)

夏の和樂園
御料理
席貸
高田家
電九三七
不相變御引立之程乞

統監府御用
大韓國御用
精乳牛牧場
京城[illegible]五番

★株式會社百三十銀行韓國總支店
京城本町二丁目十五番地
電話五十八番
資本金五百萬圓
頭取　安田善三郎
爲替取組先
畿內　大阪、京都、西陣、伏見、奈良、郡山、八木、高田、田原本、堺、貝塚、岸和田、御影、兵庫、神戶、平野、住吉、茨木、下市
東海道　東京、橫濱、大磯、甲府、靜岡、名古屋、半田、熱田、四日市、津、山田、桑名、松阪
東山道　彥根、八幡、大津、長濱、大垣、岐阜、前橋、伊勢崎、宇都宮、福島、若松、靑森、秋田、能代、土崎、高崎
北陸道　小濱、福井、敦賀、鯖江、金澤、大聖寺、富山、伏木、新潟
山陰道　宮津、舞鶴、新舞鶴、豐岡、鳥取、米子、境、松江、久手、大田
山陽道　龍野、姬路、西大寺、笠岡、高梁、玉島、福山、府中、尾の道、三原、廣島、岩國、山口、柳井、平生、下關、萩、德山、小郡、長府、網干、牛窓、味野、岩見、岡山
南海道　串本、御坊、田邊、新宮、和歌山、尾鷲、州本、撫養、德島、善通寺、丸龜、高松、八幡濱、川之石、宇和島、今治、西條、松山、三津ヶ濱
西海道　直方、飯塚、博多、福岡、若松、久留米、若津、中津、小倉、門司、行橋、後藤寺、佐伯、別府、大分、伊萬里、牛津、長崎、佐賀、宮崎、鹿兒島、八幡、長洲、熊本、
北海道　函館、小樽、札幌
台灣　臺北、臺南
淸韓國　仁川、釜山、元山、鎭南浦、平壤、木浦、羅州、大邱、群山、安東縣、晋州、尙州、馬山
銀行一般の業務精々便利取扱可申候